

AMSD 結果からの参加制約・個人因子・環境因子抽出法と目標立案法 by Shin

1.参加制約・個人因子・環境因子の抽出例

①参加制約の問題点の例

1)職業に関すること

・職業復帰困難・現職種の継続困難・昇任できない・昇給できない・差別的取り扱いを受ける・主婦業が継続できない・仕事内容が制限される・復学困難

2)経済状況に関すること

・経済的困窮

3)社会参加に関すること

・交友関係の制限・親戚づきあいの制限・冠婚葬祭への参加困難・各種団体への参加困難・市民活動への参加困難・地域社会での役割の継続困難・コミュニケーションパートナーの制約

4)余暇活動に関すること

・趣味活動の制限・趣味のための外出の制限・できるスポーツに限られる・旅行ができない(介護がいる)

5)家庭生活に関すること

・家庭内での役割の継続困難・権威の喪失・家庭内不和・離婚の危機

6)生活の場に関すること

・自宅復帰困難

②個人因子の問題点の例

1)否定面

・コミュニケーションに対する自信喪失・発話恐怖、発話回避・コミュニケーション障害への恥の意識・AAC 使用に対する抵抗感

2)肯定面

・強いコミュニケーション意欲・地域活動への意欲・正月までに家に帰りたいという希望・仕事を続けたいという希望

③環境因子の問題点の例

1)否定面

・家族の本人の発話へのいらだち・周囲の障害への無理解・部下や同僚との不仲

2)肯定面

・家族の積極的な協力・家族の本人との強いコミュニケーション意欲・パソコンの使用可能な環境

2.目標の具体例

1 長期目標

1) 活動制限に対する最終目標例

・発話明瞭度 2/5 以上(3/5 以下は音声言語単独では実用性がない)

・AAC 併用で実用レベルのコミュニケーション能力の獲得

・AAC による実用レベルのコミュニケーション能力の獲得

2) 参加制約に対する最終目標例

・職業復帰可能なレベルの発話明瞭度の再獲得

・復学可能なレベルの発話明瞭度の再獲得

・家庭復帰可能なレベルの発話明瞭度の再獲得(コミュニケーション能力の獲得)

・地域社会での活動が可能なレベルの発話明瞭度の再獲得

2 短期目標(具体的な数値を挙げる)

1) 機能障害に対する短期目標例

低下項目	機能障害 (2:軽度 1:中等度 0:重度)	短期目標例(具体的数値は AMSD の評価基準参照)
呼吸数・最長呼気持続時間・呼気圧持続時間	#呼吸機能低下 #吸気筋機能低下 #肺容量低下 #呼吸筋の筋力低下 #胸郭可動域の制限 #吸気筋と呼気筋の協調運動障害 #鼻咽腔閉鎖機能障害	・呼吸数低下 ・最長呼気持続時間延長(5 秒以上等) ・呼気圧持続時間増大(5cm ³ ×5 秒以上等)
最長発声持続時間・/a/の交互反復	#呼吸機能低下	・最長発声持続時間延長(5 秒以上等)

	<ul style="list-style-type: none"> # 吸気筋機能低下 # 肺容量低下 <ul style="list-style-type: none"> # 呼吸筋の筋力低下 # 胸郭可動域の制限 # 吸気筋と呼気筋の協調運動障害 # 鼻咽腔閉鎖機能障害 # 発声機能低下 # 発声持続低下 # 声帯および仮声帯の過内転 # 反回神経麻痺 <ul style="list-style-type: none"> # 声門閉鎖不全 # 声帯の弓状萎縮 # 声帯振動の不規則性 # 声門閉鎖のすくみ・タイミングのズレ # 声帯振戦 # 発声器官の不随意運動 <ul style="list-style-type: none"> # 喉頭の不随意的な筋収縮 # 発声器官の測定障害 	<ul style="list-style-type: none"> ・/a/交互反復速度向上(6.0回/3秒以上等) ・ファイバースコープでの過内転軽減(声帯が視診可能になる等) ・ファイバースコープでの声門閉鎖不全軽減(左右声帯の接触が明確になる等) ・ファイバースコープでの声帯振動の不規則性の軽減(左右声帯の接触が規則的になる等) ・ファイバースコープでの喉頭の不随意的な収縮の軽減(/a/のディアドコキネシスで正常発声が8/10回等) ・ファイバースコープでの声帯運動の測定障害の軽減(/a/のディアドコキネシスで正常発声が8/10回等)
/a/発声時の視診・ブローイング時の鼻漏出・/a/発声時の鼻漏出	<ul style="list-style-type: none"> # 鼻咽腔閉鎖機能不全 # 軟口蓋麻痺 # 軟口蓋運動のすくみ・タイミングのズレ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブローイング時の鼻漏出軽減(左右3度等) ・/a/発声時の鼻漏出軽減(左右3度等) ・シースケープで2目盛の向上等
舌の突出・舌の左右移動・前舌の挙上・奥舌の挙上・舌の突出後退・舌の左右移動(交互反復)・/ta/の交互反復・/ka/の交互反復・舌の突出(筋力)・舌面の挙上(筋力)	<ul style="list-style-type: none"> # 舌下神経麻痺 # 舌の運動範囲制限 # 舌の交互反復運動速度低下 # 舌の筋力低下 # 舌のアンダーシュート # 舌の不随意運動 # 舌の振戦 # 口部ジスキネジー 	<ul style="list-style-type: none"> ・舌の運動範囲向上 (・下唇上まで舌突出・舌突出時の偏倚の改善(中心線よりの舌尖のズレが5mm以下)・左右口角に舌が達する・舌面が口蓋に接する・奥舌が軟口蓋に接する等) ・舌の交互反復運動速度向上 (・舌の突出後退1.0回/秒以上・舌の左右移動1.0回/秒以上等) ・ディアドコキネシス速度の向上(/ta/の交互反復運動で2.0回/秒以上・/ka/の交互反復運動で2.0回/秒以上) ・舌の筋力増大 (・200gの抵抗に抗して下唇より前に舌突出・200gの抵抗に抗して舌面が口蓋に接触等) ・非言語的課題での舌運動の改善 (・舌の突出後退1.0回/秒以上・舌の左右移動1.0回/秒以上等) ・舌の不随意運動改善 (視診で不随意運動が見られない)
口唇の閉鎖・口唇を引く・口唇の突出・口唇の閉鎖(筋力)	<ul style="list-style-type: none"> # 顔面神経麻痺(中枢性) <ul style="list-style-type: none"> # 口唇の運動範囲制限(特に目立つ場合) # 口唇の交互反復運動速度低下(特に目立つ場合) # 口唇の筋力低下(特に目立つ場合) # 口唇のアンダーシュート # 口唇の不随意運動 # 口唇の振戦 # 口部ジスキネジー 	<ul style="list-style-type: none"> ・口唇の運動範囲向上 (・口唇を1cm以上引く・口唇を対称的に引く・口唇を1cm以上突出する等) ・口唇の交互反復運動速度向上(口唇の引き突出0.5回/秒以上等) ・口唇の筋力増大(・200gの抵抗に抗して口唇完全閉鎖等) ・非言語的課題での口唇運動の改善 (・口唇の引き突出1.0回/秒以上等) ・口唇の不随意運動改善 (視診で不随意運動が見られない)
下顎の下制・下顎の挙上・下顎の下制(筋力)・下顎の挙上(筋力) - 保持されやすい	<ul style="list-style-type: none"> # 三叉神経麻痺(中枢性) # 下顎筋力の廃用性低下 <ul style="list-style-type: none"> # 下顎の運動範囲制限(特に目立つ場合) # 下顎の交互反復運動速度低下(特に目立つ場合) # 下顎の筋力低下(特に目立つ場合) # 下顎のアンダーシュート # 下顎の不随意運動 # 下顎の振戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・下顎の運動範囲向上 (・開口30mm以上・舌圧子を閉口して保持等) ・下顎の筋力増大 (・1kgの抵抗に抗して35mm以上開口・1kgの抵抗に抗して完全閉口等) ・非言語的課題での下顎運動の改善 (・下顎の挙上下制1.0回/秒等) ・下顎の不随意運動改善 (視診で不随意運動が見られない)

		#口部ジスキネジー	
2) 活動制限に対する短期目標例			
機能障害 (2:軽度 1:中等度 0:重度)	活動制限 (1:軽度 2:中等度 3:重度)	短期目標例	
#呼吸機能低下	#声量低下	・声量の増大(最大 40phon 以上等)	
#発声機能低下	#粗糙性嗄声 #氣息性嗄声 #努力性嗄声 #無力性嗄声 #発話の短いとぎれ	・嗄声の軽減(G1R0B1A0S0 等) ・滑らかな発話(北風と太陽の音読3モーラ/秒 以上等) ・単語レベルでの発話明瞭度向上(重度)(30/50 単語以上わかる等) ・文節で区切って話せる	
#軟口蓋麻痺 #鼻咽腔閉鎖機能不全	#開鼻声 #構音の歪み #呼気鼻漏出による構音の歪み(特に目立つ場合)	・開鼻声の軽減(300Hz 付近の雑音の低下等)	
#舌下神経麻痺 #舌の運動範囲制限(特に目立つ場合) #舌の交互反復運動速度低下(特に目立つ場合) #舌の筋力低下(特に目立つ場合)	#構音の歪み #舌音の歪み(特に目立つ場合)	・正常な構音の増加 重度 :30/50 単語わかる等 中等度:文節レベルで 80/100 モーラ以上等 軽度 :文レベルで 80/100 モーラ以上等	
#顔面神経麻痺 #口唇の運動範囲制限(特に目立つ場合) #口唇の交互反復運動速度低下(特に目立つ場合) #口唇の筋力低下(特に目立つ場合)	#構音の歪み #両唇音の歪み(特に目立つ場合)	・正常な構音の増加 重度 :30/50 単語わかる等 中等度:文節レベルで 80/100 モーラ以上等 軽度 :文レベルで 80/100 モーラ以上等	
#三叉神経麻痺 #下顎筋力の廃用性低下 #下顎の運動範囲制限(特に目立つ場合) #下顎の交互反復運動速度低下(特に目立つ場合) #下顎の筋力低下(特に目立つ場合)	#構音の歪み	・正常な構音の増加 重度 :30/50 単語わかる等 中等度:文節レベルで 80/100 モーラ以上等 軽度 :文レベルで 80/100 モーラ以上等	
総合的な障害(記述しない)	#発話明瞭度の低下(何/5) #発話速度の異常(遅すぎる) #発話速度の異常(速すぎる) #声の大きさの単調性 #声の高さの単調性	発話明瞭度の向上(2/5 等) 発話速度の向上(3.9 モーラ/秒以上等) 発話速度の低下(5.7 モーラ/秒以下等) DAF 法での速度低下(50-100msec) 発話明瞭度の向上(3/5)と AAC の導入・習熟 AAC の導入・習熟	